

## 協力会員さんの声

玉内 百百代

介護の仕事をして始めて早一年半が過ぎました。

まったく介護の経験もなく、緊張の連続でした。

あれ・それ・これで指示されても全くわからない状態で、生汗をかきながら葛藤の毎日でした。

今は、温度温度の管理、一分刻み秒刻みで体調が変わるので「暑くないですか」「寒くないですか」を、常に声かけし、気持ちよく一日が送れるように心がけています。

自分自身も心身共に健康に気を付けて頑張っていこうと思います。

はじめまして。

以前、他の事業所でヘルパーの仕事をして頂いていましたがその後、特養へと職場が変わり、そちらでの経験もさせて頂きました。

在宅の利用者様、特養の入所者様ともにコロナ禍で皆さん覇気がなく、何をしても無関心でした。「家が気になる。」「会いたい。」などと、多くの方がおっしゃっていました。

普段できていることが出来なくなったり、食欲が減ったり、眠れないなどいろんな症状を目の当たりにして、何か手伝って前のように前向きになって欲しいと思っていました。そこで、もう一度重い腰を上げ、ヘルパーの仕事をやってみようと「屋島やすらぎ」で働くことにしました。

楽しい人生だったと思っていただけるよう、お手伝いできたらと思っています。

そして、住み慣れた家で、長く居れるようサポートできたらと思っています。

松本 智加子